

## 緊急に対応が必要な課題（要望）が発生

### 1 伊吹山のシカ被害対策

植生の減退による裸地化、滋賀県では裸地化による崩落も発生

※GPS首輪によるシカの行動調査



伊吹山  
ドライブウェイ

植生の減退

揖斐川町笹又の航空写真 出典：国土地理院ウェブサイト

※令和3年9月には、揖斐川町春日川合地内で土砂災害が発生 **被害額2億円**

※伊吹山ドライブウェイの利用者 28万人（平成22年）→21万人（令和4年）景観の悪化が原因のひとつと考えられる

#### 実施内容

観光地での管理（駆除）となるため、捕獲に伴う人身事故防止のため、事前に生息するシカの生態（行動範囲等）を詳細に把握する行動調査を実施

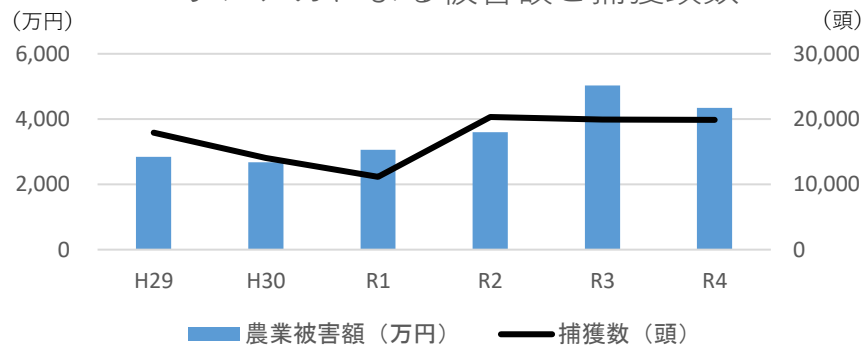
#### 期待される効果

伊吹山でのシカの捕獲が推進されることで、貴重な植物群落が守られ、また、土砂災害の発生を発生頻度低減が期待される（シカによる食害が続く場合、復旧工事を行っても再度、発生する可能性が高い）

### 2 シカ・イノシシの個体数把握及びそれに基づく適切な対策の実施 ※REST調査

県の管理計画の捕獲目標の15,000頭/年を超えて捕獲しているが被害額は目標の2,850万円以下になっていない。

ニホンジカによる被害額と捕獲頭数



#### 実施内容

捕獲は行われているが、県下全体の捕獲目標では、被害軽減につながっていないため、より緻密な捕獲計画が必要であり、地区別の生息密度調査を新たに実施。

#### 期待される効果

効果的な捕獲により、目標する被害額に抑制（令和4年度被害4,350万円、抑制目標2,850万円、効果額1,500万円/年）